

丸全昭和運輸株式会社
2025 年 3 月期決算説明会 主な質疑応答（要旨）

Q 1.

今回、配当性向 35%が目標のようですが、増配をさらに加速されるという認識でよろしいでしょうか。

A 1.

当社は安定した配当を継続することを基本方針としておりまして、6 月の株主総会で決議されれば、2025 年 3 月期は、11 期連続増配となります。

現時点では安定した配当の維持を重視していますので、配当性向を基準としており、第 9 次中期経営計画で見直しを行いました。

今後も成長投資の資金を確保しながら、業績向上を図り、皆様のご期待に沿えるよう、配当性向の向上に努めて参ります。

Q 2.

資本構成に関して、最適な自己資本額、自己資本比率はどのようにお考えでしょうか。

A 2.

自己資本額については即答できませんが、自己資本比率は連結で 67.7%程となっております。現在これが低いとは認識しておらず、自己資本比率の調整が必要な場合には自己株式の取得、決算の利益状況によっては増配、政策保有株式の売却も検討していきたいと思っております。

Q 3.

御社の現在の株価について、どのように評価されていらっしゃいますか。

A 3.

現在の株価は、昨年年初と比べて約 1.5 倍の水準となっております。

株価は大きく上昇しており、市場から一定の評価を受けているものと考えております。

物流業界全体が社会的な注目を集めていることは、私たちも強く認識しております。

IR については、今後も定期的な決算説明会の開催を継続し、機関投資家の皆さまに対して、適時・適切な情報開示に努めてまいります。

また、持続的な成長を図り、第 9 次中期経営計画の目標である ROE9~10%、

そして、配当性向、3 年間の連結ベースで 35%以上を視野に、PBR 1 倍以上を目指してまいります。

Q 4.

キャッシュアロケーションに関して、営業キャッシュフローが上振れたり、投資額が下振れた場合の株主還元の考え方を教えてください。機動的な自己株式取得など株主還元が増加すると考えてよろしいでしょうか。

A 4.

当社は業績向上を図りつつ、増配の可能性も積極的に追求していく方針でございます。無理な配当は行わない考えですが、成長投資や経営の持続性を確保する意味で、株主還元拡大に努めてまいります。

Q 5.

配当性向目標は35%以上ありますが、2025年度の計画では配当性向28%に留まる背景を教えてください。前期並みの配当額を示す形であり、期中で増配される認識でよろしいでしょうか。期初から配当性向35%で配当計画を示さないのはなぜでしょうか。

A 5.

配当について、現時点では前期末と同額の配当を予定していることを示しております。配当性向を高めていきたいという考えは変わらず、業績等を機動的に判断した中で今後の配当方針も示していきたいと考えております。

Q 6.

海外の減損された事業について、どの国のこういった事業か詳しく教えていただけますでしょうか。新中期経営計画でも海外の事業拡大を重点施策に挙げておりますが、海外事業拡大の遅れに対しどのようなテコ入れ策を図るのでしょうか。

A 6.

中国での事業でございます。中国の経済動向や、トランプ関税の状況を見ながら施策を講じていきたいと考えております。中国での事業については、お客様と一体となって行っている部分もあり、今後もアセットを保持しながら引き続き事業運営を行ってまいります。